

主な意見、要望等	市長、担当部署の回答、対応状況等	担当部署
小学生の自転車ルール授業。狭い道が多く事故が起きている。先生の見回りもして欲しい。	交通安全教育については、岸和田警察との協力のもと、小中学校などからの依頼を受けて年30回程度行っている。ここ数年は大芝小学校からの依頼はないが、各小中学校の意向により実施している。	交通まちづくり課
公共交通、バスは日中2時間に1本。貝塚や和泉など広域的に運行しては。	山手地域の交通の課題は大きいので、東葛城地区だけではなく山滝地区等も含めて山手地域全体に関する取り組みを検討したい。	交通まちづくり課
ローズバスを八木市民センター前に。	地域の意見を聴いて10月から路線変更、両周りになるが、八木市民センター前への運行は、南海バスとの兼ね合いで難しい。ローズバスは、路線バスを補完するものとして、主に阪和線より海側の施設を巡回しており、八木市民センターについては、市道久米田山滝線に通っている路線バス牛滝線があり、そちらを利用していただくことになる。	交通まちづくり課
八木市民センターにバス停留所希望。八木地区1時間に1本しかバスがないのももっと増やして欲しい。	八木市民センターへの乗り入れや増便については、利用状況、周辺道路、運転手不足などの様々な状況から困難。八木市民センターについては、市道久米田山滝線に通っている路線バス牛滝線があり、そちらを利用していただくことになる。	交通まちづくり課
4月に（自転車の）ヘルメットを購入。補助金はないのか。	1～3月に、13歳未満のこども及びその保護者、65歳以上の市民を対象に、「自転車用ヘルメット購入支援事業」を実施中。（2026/1/26現在、予算に限度あり）	交通まちづくり課
交通の便が悪い 高齢者が多い地域。	路線バスの利用が困難などの公共交通の空白地域については、「地域主体による生活交通導入支援に係るガイドライン」を策定するなどの準備を進めている。	交通まちづくり課
和泉大宮駅前バス停留所テント。バス停の雨除けテントが経年劣化により朽ち果てて見た目にも非常に悪い。当該町から南海バスへお願いすべきものなのか。	南海ウィングバスにより停留所を撤去したことを確認済。	交通まちづくり課
南海本線の高架に対する市の考え方は賛成する方向ですか。南海任せなのか。	令和6年度より南海電鉄や大阪府と勉強会を設置し、検討を進めている。	交通まちづくり課
春木駅の高架について。	令和6年度より南海電鉄や大阪府と勉強会を設置し、検討を進めている。	交通まちづくり課
高齢者で運転免許返納すると、足がバスしかない。バスの本数も1時間に2本あればいいところ。ローズバスというか地域に自由に買い物が行けるような形のことは考えてほしい。	路線バスの本数については運転手不足なども含めてバス事業者と協力しながら何とか路線を維持している状況であり、ローズバスについては路線バスを補完するものであるので、天神山校区などへの導入は難しい状況である。天神山校区は公共交通の空白地域ではないものの、高低差もあり公共交通が利用しにくい地域であることは認識しているので、黄金塚地区や春木大芝地区や黄金塚地区での取り組みを通じ、「地域主体による生活交通導入支援に係るガイドライン」を策定するなど、地域の取組への支援体制等について準備を進めている。	交通まちづくり課
ローズバスを山手地区にも。府道30号（大阪和泉泉南線）より海側しか走っていない。高齢者はバスがないと不便。	ローズバスについては路線バスを補完するものであるので山手地域にローズバスを走らせることはできないが、まずは現段階で山手地区で実現可能な公共交通として、和泉中央駅へ繋がる路線バス山直線を導入している。今後も泉州山手線と沿道まちづくりの進捗に伴い、最適な公共交通を導入するべく検討を進める。	交通まちづくり課
バスの本数が少なく、乗り換え必要で不便。岸和田駅、市民病院、徳洲会病院までのバスが欲しい。本数を増やしてほしい。	光明地区で運行している路線バス福田線（市民病院、岸和田駅へも停車）については利用者が低迷しており、現在は、南海ウィングバスへの運行補助や様々な利用促進策（新規ルート、バス停設置、ローズバスとの乗り継ぎ改善等）を進めることで維持している状況。市民病院へは下松駅でローズバス、徳洲会病院へは岸和田駅で東ヶ丘線に乗り換えると向かうことができる（徳洲会病院、徳洲会クリニック、葛城病院へは、病院の送迎バスでも行くことが可能）。	交通まちづくり課
泉州山手線の延伸はどうなってるか。泉北高速鉄道の延伸は。	南海泉北線の延伸は多くの市民が期待されているが、同時に実現にあたっては長期的な取り組みとなる。まずは泉州山手線の整備と沿線のまちづくりの進捗に合わせて、その状況に合わせた最適な公共交通を導入していくことも重要であり、具体的には泉州山手線の整備に合わせて基幹的な路線バス等の公共交通の導入から始めたいと考えている。	交通まちづくり課
ちょいそこタクシーについて、1回300円往復600円。もう少し使いやすくしてほしい。市民病院まで行けるように、利用しやすい金額設定へ。徳洲会まで500円は高い。	令和6年度に公共交通の空白地域である春木大芝地区で乗り合いタクシーの実験運行を行ったが、アンケート調査結果からご意見の内容も含め様々なご意見をいただいております、チョイソコを運行した「春木大芝コミュニティ交通実行委員会」と共有したうえで判断してもらおうものと考えている。	交通まちづくり課

高齢者が多い。公共交通機関がない。安価で利用しやすい交通機関が欲しい。	大芝校区ではローズバスは堺阪南線に沿って運行しているが、ご指摘の通り大芝校区や春木校区の特に紀州街道から海側等については道路状況などから路線バスやローズバスの運行が難しく、公共交通の空白地域となっている。そういった地域を対象に令和6年度に「春木大芝コミュニティ交通実行委員会」において実験運行を行ったが、引き続き地域の皆様とともに、生活交通の確保に向けて実証運行等について検討を進めてたいと考えている。	交通まちづくり課
市内循環バスが使いづらい。	大芝校区ではローズバスは堺阪南線に沿って運行しているが、ご指摘の通り大芝校区や春木校区の特に紀州街道から海側等については道路状況などから路線バスやローズバスの運行が難しく、公共交通の空白地域となっている。そういった地域を対象に令和6年度に「春木大芝コミュニティ交通実行委員会」において実験運行を行ったが、引き続き地域の皆様とともに、生活交通の確保に向けて実証運行等について検討を進めてたいと考えている。	交通まちづくり課
交通網の整備。自治体ライドシェアの導入。バスの本数少ない。四季まつりのバスと連携。和泉中央駅行きバスの連携を改善。	山滝地区では路線バス牛滝線が運行しており、現段階ではその維持、確保に向け取り組むとともに、将来的な運転者不足への対応として自動運転バスの実証運行にも取り組んでいる。自治体ライドシェアについては、現行制度ではタクシー事業者との連携及び地域の協力が必要。四季まつりの送迎バスは、岸和田駅、東岸和田駅などへ運行していると聞いているが、この送迎バスを路線バス等として運行することは困難だが、意見交換等に行いたい。現在、和泉中央駅と愛彩ランドを結ぶ路線バス山直線は、牛滝線と稲葉町、山直中町、包近町のバス停において乗り継ぎできるようになっているが、同時に到着するわけではなく遅延することもあるため、必ずしも希望通りの乗り継ぎが可能というわけではないが、引き続き利便性向上について検討していく。山手地域の交通の課題は大きいので、山滝地区だけではなく東葛城地区等も含めて山手地域全体に関する取り組みを検討したい。	交通まちづくり課
高齢者にバス料金の補助を。	ご意見として承る。	交通まちづくり課